

研究課題別事後評価結果

1．研究課題名： 冬眠様選択的スプライシング機構の応用法の開発

2．個人研究者名

堀井 有希 （岐阜大学 糖鎖生命コア研究所 助教）

3．事後評価結果

冬眠特異的な Cold-inducible RNA-binding protein(CIRP)のスプライシングに注目し、機能解析と病態との関連性を解明することを目的とした。ゲノム編集により冬眠型マウスやバリエーション型マウスの作製を行い、冬眠時のスプライシングが、急性温度変化に対する心機能維持に重要であることを見出すなど面白い結果を得られつつある。マウスの解析を今後更に進めることで、スプライシングの意義の解明につながることを期待できる。